



写真提供: 文藝春秋・講談社

## 第22回

# 松本清張

## 研究奨励事業 募集要項

これまでの入選者

- 第1回**  
【研究課題】「清張文学の基層—菊池寛の方法と立場」  
(代表) 石川 巧 山口大学助教授  
【研究課題】「松本清張氏は、哲学館事件」(『小説東京帝国大学』)に何をみたのか?  
衛藤 吉則 新見公立短期大学助教授
- 第2回**  
【研究課題】「松本清張『北の詩人』論」『謀略朝鮮戦争』をめぐる歴史記述の問題」  
(代表) 趙 正民 九州大学大学院博士後期課程  
【研究課題】「初期清張の学習—短編小説構築の方法」  
山口 政幸 専修大学助教授
- 第3回**  
【研究課題】「松本清張の戦争と衛生兵の朝鮮体験」  
南 富鎭 日本学術振興会外国人特別研究員  
【研究課題】「映像からみる戦後史資料の発掘と調査研究」  
(代表) 吉良 芳恵 日本女子大学助教授
- 第4回**  
【研究課題】「松本清張書誌情報の調査・整理及びデータベース化」  
佐藤 芳子 司書
- 第5回**  
【研究課題】「蘇我氏と日本の古代—『日本書紀』の記載の検討」  
水谷 千秋 龍谷大学非常勤講師
- 第6回**  
【研究課題】「モダニスト松本清張—マスメディアとの相互関連性をめぐる研究」  
(代表) 宗像 和重 早稲田大学教授 十重田裕一 早稲田大学教授  
【研究課題】「日本の探偵小説・推理小説と中国—その中国における受容と意味」  
(代表) 王 成 中国・首都師範大学助教授  
【研究課題】「松本清張と金聖鐘—日韓の戦後探偵小説比較研究」  
李 建志 鼎立広島女子大学助教授
- 第8回**  
【研究課題】「『隠花の飾り』英訳」  
(代表) 栗田 香子 米国・ボノナ大学助教授
- 第9回**  
【研究課題】「『象徴の設計』と『二・二六事件』における「上官命令への絶対服従制度」に関する考察」  
網屋 喜行 鹿児島県立短期大学名誉教授
- 第10回**  
【研究課題】「動機と時空という視座からみた清張推理小説の社会性」  
和田 稔三 立命館大学非常勤講師  
【研究課題】「清張文学と旅—作品の舞台と人の研究—」  
(代表) 大川 力 松本清張研究会会員
- 第11回**  
【研究課題】「『黒地の絵』の英訳」  
加島 巧 長崎外国語大学教授  
【研究課題】「松本清張が追った、ヨーロッパの幻影を求めて」  
前田 洋平 筑波大学人文社会科学研究所  
【研究課題】「松本清張の小説世界と今の中国社会の類似性」  
張 雷 南京師範大学准教授
- 第12回**  
【研究課題】「清張古代学—『魏志』倭人伝から『魏志』東夷伝の考古学へ」  
東 潮 徳島大学大学院教授  
【研究課題】「『神々の乱心』にみる『御神鏡』の研究」  
(代表) 美馬 弘 多摩美術大学芸術人類学研究所特別研究員
- 第13回**  
【研究課題】「韓国における清張作品の受容に関する調査・分析」  
森脇 錦徳 翻訳家 ホ・ナムウン 韓国・映画評論家  
【研究課題】「松本清張と昭和30年代『中間小説誌』」  
(代表) 高橋 孝次 千葉大学非常勤講師  
【研究課題】「東アジアにおける松本清張作品の受容」[国際共同研究]  
(代表) 藤井 省三 東京大学教授
- 第14回**  
【研究課題】「松本清張と地方紙—『黄色い風土』を中心に」  
山本 幸正 早稲田大学教育学院非常勤講師
- 第15回**  
【研究課題】「松本清張『火の路』と漢魏晉以来『胡印』及び『景教印』等の研究—印章の世界にヘルシア文化とその東漸をよむ—」  
久米 雅雄 大阪芸術大学客員教授  
【研究課題】「『回想的自叙伝』を中心に、社会教育・自己教育の視点から」  
(代表) 福永 義臣 元九州国際大学教授
- 第16回**  
【研究課題】「松本清張の見た関東州—平石氏人資料を手がかりとして」  
平石 淑子 日本女子大学教授  
【研究課題】「松本清張とラオス—ベトナム戦争の記述をめぐる研究」  
尾崎名津子 日本大学非常勤講師
- 第17回**  
【研究課題】「作品中の鉄道乗車記録詳細と文学的效果の考察—清張世界への乗り鉄論的アプローチ」  
赤塚 隆二 元朝日新聞記者  
【研究課題】「イタリア社会派推理小説の成立における松本清張作品の受容—『霧の会談』とレオナルド・ジャッシャ」  
吉村 法子 立命館大学大学院博士課程 後期課程
- 第18回**  
【研究課題】「松本清張の政治思想—一言論界、大学、歴史記述」  
倉科 岳志 京都産業大学准教授  
【研究課題】「松本清張と森浩—一定説への挑戦と古代史ブームの牽引」  
深堂 真穂 フリーライター
- 第19回**  
【研究課題】「自筆原稿・日記・書簡類を素材とした日本近現代史学史の研究」  
坂口 太郎 高野山大学助教
- 第20回**  
【研究課題】「松本清張、未完の仕事—(荒木光子の戦後史)」  
北原 恵 大阪大学文学研究科教授  
【研究課題】「松本清張文学の韓国における翻訳現況と特徴」  
(代表) 金 宰煥 韓国・慶北大学校教授
- 第21回**  
【研究課題】「松本清張文学のメディアミックスに関する基礎的研究」  
(代表) 志村 三代子 都留文科大学准教授  
【研究課題】「松本清張におけるGHQ占領に関する表象と言説の総合研究」  
川崎 賢子 立教大学特任教授

(所属は当時のもの)



北九州市立  
松本清張記念館

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2番3号 TEL093-582-2761 FAX093-562-2303 <http://www.kid.ne.jp/seicho>

# 第22回

# 松本清張

## 研究奨励事業 募集要項



### ■趣旨

松本清張の文学はフィクションにとどまらず、ノンフィクション、評伝、現代史、古代史にまで及びましたが、視線はいつも時代と人間存在の深奥を見つめ続けていました。清張文学を研究することは、今後の時代の進むべき方向と私たちの生きていく指針を見いだすことにつながると言えます。このような視点から、清張の作品や人物についての研究活動を推進し、歴史、社会や人間性の深層を探求する精神を継承していくため、松本清張夫人ナヲ様のご厚意により創設されました。

### ■対象

- ①松本清張の作品や人物を研究する活動
  - ②松本清張の精神を継承する創造的かつ斬新な活動(調査、研究等)
- 上記①②の活動で、これから行おうとするもの。ジャンルは問いません。ただし、未発表に限ります。個人又は団体も可。

### ■研究奨励金

入選者(団体)に120万円を上限とする研究奨励金を支給します。  
金額は企画内容や予算書を検討して決定します。

### ■応募方法

今後取り組みたい調査・研究テーマ等の内容が具体的に分かる企画書、予算書、参考資料(すべて様式は自由、ただし日本語)を、**令和2年3月31日までに応募してください。**  
応募用紙に記載された個人情報(選考結果の通知、発表に使用します)。

### ■選考

松本清張記念館内の選考委員会により選考します。

### ■発表

審査終了後、審査結果を直接通知します。入選者には、8月に北九州市で開催される贈呈式への出席をお願いします。

### ■その他

採用された企画は翌年の6月末日までに実施成果(研究論文・調査報告書、領収証付収支報告書)を報告していただきます。  
また、成果品である研究論文、報告書等は記念館刊行の研究誌に掲載、発表することがあります。成果品に係る著作権等諸権利は、北九州市に帰属します。  
なお、本事業は令和2年度予算の成立が前提となるものです。このため、内容等が変更になることがあります。あらかじめ御了承願います。

### ■応募・お問い合わせ先

北九州市立  
**松本清張記念館**

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2番3号  
TEL.093(582)2761 FAX.093(562)2303  
<http://www.kid.ne.jp/seicho>

キリトリ

## 第22回 松本清張研究奨励事業 応募用紙

■応募企画タイトル			
■個人	ふりがな ■名前	■年齢	■所属
■団体	■名称	ふりがな ■代表者名	
■住所	LLLL-LLLLL	■TEL ( )	■Eメール:
■プロフィール ■これまでの研究活動など (別紙詳細添付可)	.....		
■応募の動機			